



1. 認知症川柳表彰式

入賞者7名(小学生6名は学校長を通して表彰済み)のうち、参加者5名に対し表彰式を行いました。

それぞれの作品に込められたエピソードからも、さらに認知症への理解が深まるきっかけとなりました。

認知症川柳の企画から周知、入選作品の選定にわたり、ご協力どうもありがとうございました。



2. 意見交換会

今回の認知症川柳の表彰式に併せて、ポワールの会で話合いを進めている「家族支援」と「当事者支援」について市民目線での意見を伺い、反映させることができればと、表彰者も交えた意見交換会を企画しました。(表彰者のうち4名参加あり)

テーマ：「認知症になっても安心なまち白井をめざして」一番支援の抜けがちな下記時期に、家族・当事者の視点から必要と感じる支援について話合いました。

	予防の時期	気づきの時期 (変化が起き始めた時期： 軽度認知障害)	発症～症状が多発する時期 (日常生活で見守り・手助けが必要)
当事者の視点		<p>【不安なこと・大変なこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎独居だと、意識して人と話すようにしないと会話がな。 ◎交通手段がなくなること。 ◎もともとの趣味が継続できなくなるのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎具合が悪くても本人は自分の症状を言えないので受診のとき困る。 ◎街に出て場所が分からなくなったとき、お店で買い物をしているときやお金を払うことが分からなくなったとき、切符を買うとき、どこへ行くのか分からなくなったとき等手助けがほしい。
		<p>【こんな支援や社会の仕組みがあったらと思うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎地域の生活の場面で、認知症サポーターの協力があるとよい。 ◎認知症患者と周りから分かるもの(オレンジリングのような目印)があると手助けしやすいが、悪用される可能性がある。→やはり周囲が気付く・声をかけられる・声をかけやすい環境づくりが必要か。 ◎認知症の人が集える場。 ◎ペットと一緒にいられるショートステイがあると安心するのではないか。 	

	予防の時期	気づきの時期 (変化が起き始めた時期： 軽度認知障害)	発症～症状が多発する時期 (日常生活で見守り・手助けが必要)
家族 の 視 点	【不安なこと・大変なこと】		<ul style="list-style-type: none"> ◎1人で店に行ってレジを通らず、万引きと間違えられてしまう。 ◎お金を持たせるとなくしてしまう。 ◎交差点でも渡ってしまう。 ◎家での留守番が心配。 ◎家族に大きな負担がかかっている。
	<ul style="list-style-type: none"> ◎地域の中での関係性がなくなったときが心配。 ◎これ以上悪くならないためにどうしたらいいか不安。 		
	【こんな支援や社会の仕組みがあったらと思うこと】		
	<ul style="list-style-type: none"> ◎これ以上悪くならないための定期的な認知症予防の場（童謡・唱歌などの歌の会・簡単な体操・童話イソップなどの短編お話会等）があるとよい。 ◎役割・生きがい・内職的な仕事等組み合わせたサロン。認知症カフェが頻繁にあって気軽に過ごせるとよい。 ◎認知症患者の一時預かり場所や気軽に安心して見守ってもらえる（預けられる）地域の場（相談・話し合い・運動体操など楽しめる場）があるとよい。 ◎家族の精神状態をフォローしてくれるサービス。 ◎家族会の周知ができるとよい。 ◎市民や店員の協力があるとよい。身構えずに気軽に声をかけてほしい。オレンジリングをつけていると頼みやすい。 ◎かかりつけ医に認知症の相談をしたときに、「介護申請」という方向だけではなく、相談できる場までつなげてほしい。 ◎地域包括支援センターを相談先としてわかりやすく周知してほしい。名前も分かりにくい。 ◎わかりやすく地域の情報が得られる手段があるとよい。 ◎事故に遭った場合、事故を起こした場合の保険制度加入支援や情報が得られるとよい。 ◎徘徊行動パターンが把握できるもの（GPS等）があるとよい。 		

話し合いの結果「認知症になっても安心なまち白井」とは？

- ☆当事者を支援してくれ、家族が相談しやすいオレンジリングをつけた店員や市民が地域に多くいるまち白井。
- ☆地域包括支援センターをはじめ相談先がわかりやすく周知され、地域の情報や保険制度など情報が得やすいまち白井。
- ☆役割や生きがい、趣味の継続等につながる定期開催している認知症カフェがあるまち白井。
- ☆家族の精神的なフォローにつながるサービスや気軽に安心して当事者を見守って（預かって）もらえる場所が地域にあるまち白井。
- ☆認知機能低下があっても、すぐに「介護保険」とならず、地域とのつながりが継続できるまち白井。

※今回の話し合い結果を参考にして、白井市の認知症施策に取り入れて生きたいと思います。

次回は・・・ **2月28日（水）14時～16時**

場所：白井市保健福祉センター3階 団体活動室



「パワーの会（認知症対策連絡会）」担当

白井市 健康福祉部 高齢者福祉課 地域包括支援センター 安岡・山本

電話 047-497-3474 FAX047-498-4832 メールアドレス chiiki-hokatsu@city.shiroi.chiba.jp